

## 正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申しあげます（2022年6月10日）

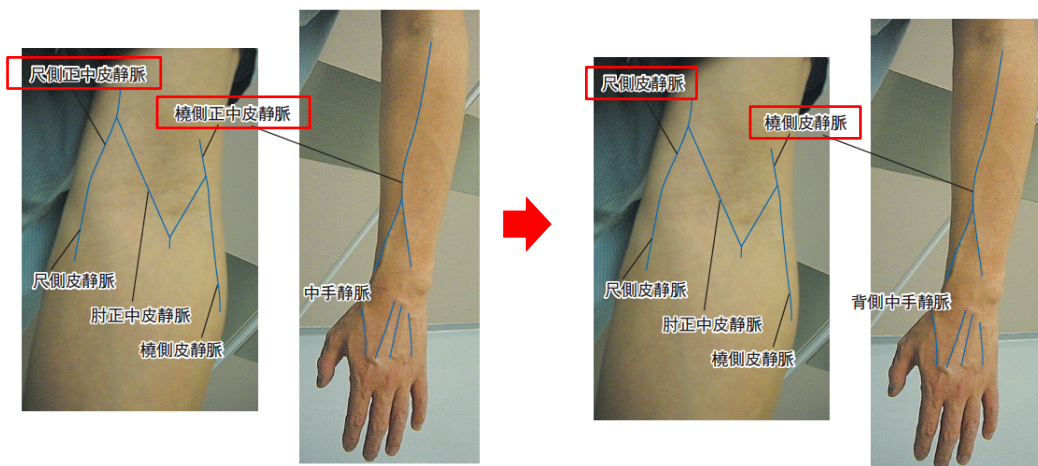
## ■第2版 第4刷（2021年4月10日発行）～

## 第2版 第2刷（2015年3月30日発行）の修正・更新箇所

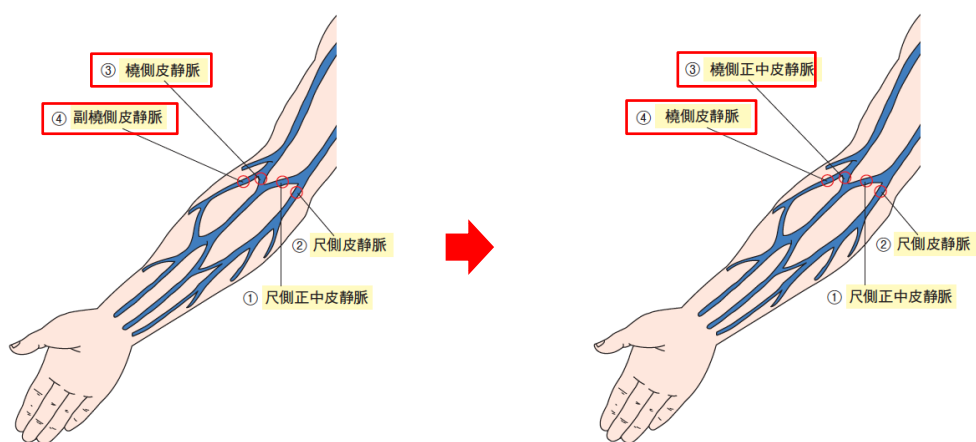
※第1刷からの修正箇所は[https://www.yodosha.co.jp/correction/9784897063508\\_corrections.pdf](https://www.yodosha.co.jp/correction/9784897063508_corrections.pdf) をご参照ください

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
PART I 基礎・準備編 4-5 注射針					
35	表1 カラーコード「ブラック」の「針外径」	7	0.7		22/06/10
PART II 実践編 2-1 末梢静脈注射（intravenous injection）の実際					
84	図15	尺側 <b>正中</b> 皮静脈 橈側 <b>正中</b> 皮静脈	尺側皮静脈 橈側皮静脈	赤字部を削除（※1 図参照）	22/06/10
PART II 実践編 2-3 中心静脈確保					
94	memo〈③消毒の範囲〉の本文3行目	鎖骨中 <b>鎖</b>	鎖骨中 <b>鎖</b>		22/06/10
PART II 実践編 2-4 PICCとミッドラインカテーテルの実際					
100	「2 刺入部位、体位」の本文3～4行目	橈側皮静脈（第三選択）、 <b>肘</b> 橈側皮静脈（第四選択）	橈側 <b>正中</b> 皮静脈（第三選択）、橈側皮静脈（第四選択）		22/06/10
100	図4	③橈側皮静脈 ④ <b>肘</b> 橈側皮静脈	③橈側 <b>正中</b> 皮静脈 ④橈側皮静脈	※2図参照	22/06/10
PART II 実践編 2-5 動脈カニューレション					
103	左段の下から20行目	●大腿動脈（femoral artery） <b>または股動脈（iliac artery）</b>	●大腿動脈（femoral artery）	赤字部を削除	22/06/10
103	左段の下から16行目	大腿（ <b>股</b> ）動脈	大腿動脈	赤字部を削除	22/06/10
103	図2	大腿動脈・ <b>股（外腸骨）動脈</b>	大腿動脈	赤字部を削除（※3 図参照）	22/06/10
103	右段の2行目	2) アレンテスト <sup>1)</sup>	2) アレンテスト <b>変法（以下、アレンテスト）</b> <sup>1) <b>5</b></sup>		22/06/10
103	右段の10～11行目	「陽性」は動脈弓が存在 <b>する</b> ことを意味する	「陽性」は動脈弓が存在 <b>しない</b> ことを意味する		22/06/10
104	左段の11～12行目	アレンテストが <b>陰性</b> であっても	アレンテストが <b>陽性</b> であっても		22/06/10
109	参考文献		<b>5) WRIGHT, I. S. : Vascular Diseases in Clinical Practice, ed. 2. The Year Book Publishers Inc., 1952</b>	文献を追加	22/06/10
PART II 実践編 2-9 骨髓輸液					
118	右段の3行目	骨端 <b>鎖</b> 損傷	骨端 <b>鎖</b> 損傷		22/06/10

※1



※2



※3

